



第3072回例会 2022年1月18日(火) 天候 晴

■ロータリーソング 我等の生業

■司 会 國谷 大輔 会長

■ゲスト

国際ロータリー2510地区職業奉仕委員会

委員長 玉井 清治 氏 (函館亀田RC)

■幹事報告

1、会員の推薦がありました。異議の申し立てのある場合は1月24日までに書面で理事会にご提出ください。

2、第3四半期会費納入のご案内を致しましたので、お払い込みくださいますようお願い致します。

3、長崎東RCの会報を回覧いたします。

「職業奉仕月間に因んで」

国際ロータリー2510地区
職業奉仕委員会
委員長
玉井 清治 氏
(函館亀田RC)



皆様、こんにちは。

地区職業奉仕委員長の玉井でございます。
今月は職業奉仕月間でありますので、職業奉仕に関するご質問等ございましたら、何なりとご発言くださいませ。また、ロータリー多岐にわたるご質問でもかまいません。職業奉仕はほとんどに関連しておりますのでご遠慮なくお願ひいたします。

吉村昭夫幹事：R I ・ 地区 ・ クラブの関係を知りたいのですが。

玉井：ロータリアンはすべて平等でなければなりません。社会に出れば元請と下請の関係にあろう

- 例会場／ホテル函館ロイヤルサイド TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所／ニチロビル4F
TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長／國谷大輔
- 副会長／黒島一生
- 会長エレクト／安田雄二
- 幹事／吉村昭夫
- 副幹事／平井喜一
- 友好クラブ／長崎東ロータリークラブ



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
シェカール・メータ
国際ロータリー2021-22年度会長

第3073回 4月5日(火)

本日の
プログラム

次週の
プログラム
4月12日(火)

「節分の『邪氣と疫病』のお祓い」

小野 孝良 会員

「花まつり」

佐藤 雄喜 会員

月間テーマ 母子の健康月間

とも、医師と患者の関係にあろうとも、また大会社の社長と零細商店の店長であろうとも、ロータリーの発想交換の場では、まったく平等でなければなりません。R I (国際ロータリー) はクラブが委託して設立した組織です。R I 会長も地区ガバナーもクラブ会長もすべて平等で上下関係はありません。

ロータリーは全ての人を対等に扱います。ロータリアン相互の間で上下の階級でものを考えていけないということを遠い昔から続けてきました。会長をやったから幹事をやったからと言って、その役職は決して上の地位を彼に与えたと言うことではなく、機能の配分上そういうことをやって下さいと頼まれているに過ぎないとと思うべきだというのが、ロータリーの考え方です。

職業人から構成されているロータリアンはそれぞれ企業や事業所の管理者ですから、その管理者としての機能を果たすべく社長という地位を与えられているに過ぎないとあって、その与えられた機能を十分に果たせば、尊敬され部下の信頼を勝ち取る事ができ、その信頼に裏付けられて自分が管理する企業が益々栄えて行くという事になる。こういう人間対等論に立って物ごとを考えることが、ロータリーの考え方であり、ロータリー運動は自分の事業所の永続的繁栄に向けたトレーニングだといえるでしょう。

安田雄二会員：クラブが減少してゆくなかで、組織をどのように変えるべきか？

玉井：クラブ自治権の範疇でその時代や会員の構成に合わせ、積極的に変えるべきではないでしょうか。時代も国も、国家の歴史も違います。人も経済も成長しています。成長というのならば百年前の人たちよりも私たちは成長している必要があります。昔と今では時代背景や産業構造が全く違

います。めまぐるしい職業の多様化の現代で、実際にロータリアン全員に当てはまるかどうか、良いところは素直に受け入れ、おかしいところはおかしいと私たちは考えなければならない時期にきていているのではないでしょうか。

佐藤雄喜会員：これからロータリーと職業奉仕は、どう変化してゆくのか？

玉井：ロータリークラブが職業人であるロータリアンによって構成されている以上、会員個人の事業母体の発展ないしは安定的な維持、利益の向上を図ることが、ロータリー運動を持続し発展するための大前提です。ロータリーの会員が減りつづけています。経済不況や高い会費のせいにする人もいますが、会費も安く、空前の好景気に沸くアメリカにおいても同様の現象がみられることから、理由はそんなに単純なものではありません。

ロータリーに対する魅力がなくなった、ロータリーに入っているメリットがなくなったと感じる会員が、不況を表向きの理由にして、ロータリーを離れていくような気がしてなりません。そうはさせじと、メークアップの期間を延長したり、出席規定を緩めたりして、これに迎合することで、今度は良質の会員を失っていくという悪循環を繰り返しているのではないでしょうか。

人道主義に基づく奉仕活動は素晴らしいことだと思いますし、この活動に反対する意図は毛頭もありません。そこに飢える人や病める人がいれば、それを助けることは当然のことですし、金銭による奉仕も、マンパワーによる奉仕も必要だと思います。ただし、一つだけ言えることは、こういったボランティア精神に基づいた奉仕活動は、ロータリーだけが行っている奉仕活動ではなく、更に言えば、ボランティア活動を目的とした組織は星の数ほどあるということです。

ボランティア活動をするためにロータリーに入

るのなら、むしろ専門的な活動をしているNGOに入って、I serveかWe serveに悩むこともなく、気次ねなく募金活動をして、団体的な奉仕活動をする方が効果的です。

日本のロータリアンが職業奉仕の重要性を発信続けなければ「ロータリー未来形成」によって、ロータリーはおかしな方向に進むような気がしてなりません。

吉川達也会員：クラブ内の会員のニーズはどのようなものなのか。

玉井：年齢・性別・業種によって、会員のクラブに対する考え方方が違うのは当然のことのように思います。若くて第一線を走っている若い会員さんは自分の仕事に全力投球しています。クラブとして、自分のまわりも含めてその会員さんの仕事を精一杯支援しましょう。また、現役を引退した先輩会員は話し相手を望んでおられます。クラブとして「ファイアーサイドミーティング」等を開いて先輩の職業の成功例を聞きましょう。



このようにクラブ内の会員が何を望んでいるのかリサーチすることが大切です。貧しい時代とはうって変わって、団塊の世代の現役引退者が社会の役に立ちたいと、現在国内に12万件もの奉仕団体が存在し、日々増えています。他の奉仕団体と同じようなボランティアでは職業人の集まりであるロータリーの価値観は薄れて当然です。

私たち職業人は何に集中すべきか、今一度原点にかえって考え直す必要があるように思えます。

ご清聴、誠にありがとうございました。

■出席報告

- 1月18日(火) 会員36名中 出席25名(欠席11名)

市内他クラブ プログラム

4月 6日(水)	函館北RC	卓	話
4月 7日(木)	函館RC	卓	話
4月 8日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
4月 11日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

くにや司法書士法人

國谷 大輔 会員

堀川町6-15 電話 30-4008

協同組合函館労務協会

黒島 一生 会員

新川町21-5 電話 26-3165